

まつかぜ

新 三 号

発行 者
平和学園 小・中学校同窓会

発行 日
平成16年9月10日

編集・印刷
サイン印刷

題 字
小学校長 中 山 洋 司

今年もホームカミングデーに集まろう

平和学園小学校同窓会会長 S.34小卒 山口洋一郎

さあ、今年もホームカミングデーが近づいて参りました。

卒業生の皆様、そして卒業生の保護者の皆様、我々の学び舎、平和学園小学校へ11月6日(土) (バザーの日)に集合しましょう。3回目となります。ホームカミングデー、今年には親睦と交流の広場に小学校音楽室をお借りしております。ホームカミングデーの目的は、

「**小中学校卒業生・保護者の皆様**とつながるいわゆる平和ファミリーの親睦と交流」

「**今の平和学園につぶさにふれ、もう一度学校を考え盛り上げていく**」です。

また、今年初めての試みとして、皆様の寄贈品を持ちよりバザーに参加して、少しでもお世話になった平和学園の売り上げに貢献したいと計画しています。皆様の「ご来園とバザーへのご協力を心からお待ちしています。

でも、一人であられるのでは、いささか躊躇(ちゆうちよ)があると思います。是非、同期の旧友(今でも親友かもしれません)あるいはお母様、お父様達だけでも誘いあつていらしてください。図書室はバザー開始から午後5時までオープンしています。その後、クラス会など計画してはいかがでしょうか。

さて、平和学園も2006年に創立60周年を迎えることとなります。創立の経過につきましては、「平和

学園の沿革」をご覧ください。私事ですが、我々の学年の、生まれた年(昭和21年生まれ)の創立ですので、丁度その年は還暦となります。

現在、アレセイヤ湘南中学校・高等学校と校名が変わりました。そして、来年末を目途に中学校・高等学校校舎を建て替えております。(下記に完成予定図) 平和学園は成長しています。

そこで、各同窓会の上部組織であります平和学園校友会では、同窓生の手で記念事業を計画しようということになりました。

また、日もあり充分な計画になっていませんが、イメージとしては、茅ヶ崎市内唯一の私立学校である平和学園の今の姿を地域の人たちにより知っていただき

より理解していただきより応援していただくことをコンセプトに、現在2つの夢の実現に向かって努力しています。

一つは「生涯学習事業」です。(市民対象の講演会、音楽会、英会話、陶芸など)

もう一つは「フラタニティーハウス事業」です。学園キャンパスの南にある、ダイアンサスを利用し、日常は、英語しか使つてはいけないことで、生活に生きた英語を学ぶ寄宿舎の運営事業です。

以上、どうか、平和ファミリーの皆様さまご協力をお願いいたします。

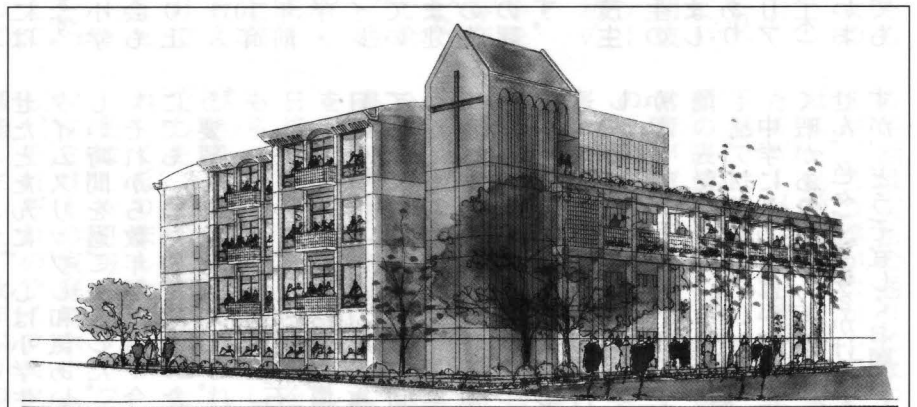
今年も、ホームカミングデーに大集合!

2004年11月6日(土) AM11:00 ~ PM17:00
(バザーはPM13:30まで)

家族そろって

沿革

本学園の前身は、1917年、キリスト教奉仕団体によって始められた白十字会林間学校です。この基礎の上に1946年4月、初代校長村島帰之によって平和学園小学校に引き継がれました。これと並行して、平和女学校が開校され、その後の学制改革によって学校法人平和学園となり、中学校、高等学校へ発展し、幼稚園も併設されました。そして1999年にはアレセイア湘南中学校を開校、翌年高校名をアレセイア湘南高等学校と変えて現在にいたっています。



ファサード透視スケッチ(完成予定図)

「中学校同窓会」よ...

中学校同窓会 会長

S 31年中卒 東

安彦

平和学園中学校同窓会は、昭和五十六年に母校中学校が休校となり、新たな同窓生の参加がなくなつたため、共通の会員が多い小学校同窓会と共に活動することとなりました。以来、大石会長、大林・乾両副会長のもとで、共通の名簿発行や母校五十周年に合わせた記念総会（横浜）を開催するなど事実上ひとつの組織として活動してきました。

その後、中学校は十一年間の空白のち平成七年に再開され、十一年には三十八年ぶりの男女共学校として、六年制アレセイア湘南中学校と改名し現在に至っています。

この間同窓会は、平成十四年三月に大石氏から現山口会長に代わり、役員、世話人も世代交代しました。その結果、執行部の大半が小学校卒業生となり、活動・運営に小学校同窓会色が濃くなるのはやむを得ませんでした。

「まつかぜ」二号の「維持会費納入」の記事を発端に、現執行部や以前の役員の間から同窓会の運営やあり方についての疑問や指摘が聞かれるようになりました。

また、平和学園中学校同窓会の会員数は、昭和二十四年の第一回生七十一名を最多に第三十九回生七名まで総計九百三十余名で、今年三月のアレセイア湘南中学の卒業生を加えても一一〇〇名という少数数です。さらに、来年三月に

はアレセイア湘南中学校第一回生が高校卒業の時期を迎えますが、中高一貫を謳ってスタートしていることから、六年間の学業を終わつた時が卒業、とする意見もあり、このアレセイア湘南中学の卒業生をどう受けとめるか、同窓会、学園の判断が迫られています。

もし、この意見に従うならば、中学校同窓会は、平成十二年三月の平和学園中学校の卒業生を最後に、再び新たな会員の参加がなくなつたこととなります。

こうした問題と状況を踏まえて、これからの中学校同窓会の在り方を考えるとき、次の三つの選択肢が浮かんできます。

一、中学校同窓会は、平和学園中学校に在籍した会員で組織し、運営する。

二、小中高、学校名などにかかわらず母校は平和学園一つの立場に立つて、同窓会を一本化する。（この場合、校友会との関係を調整する必要がある）
*母校の運営を支援する会。
二〇〇一年三月発足、吉田吉男会長

三、共通のメンバーの多い小学校同窓会と完全に合体して、中学校同窓会は廃止する。当然中学卒業生からも役員、世話人を出して、共同して会の運営・活動にあたる。

それぞれに疑問や問題はあるでしょう。年代、学年、個人によっても受け止め方はさまざまだと思います。

会員の皆さんの忌憚のないご意見をお寄せいただき、中学校同窓会の将来を一緒に考えて行きたいと思ひます。

歓迎

新同窓会員

今年の小学校の卒業生は、17名（進学先・アレセイア湘南中学校7名、公立中学校2名、私立中学校8名）アレセイア湘南中学校の卒業生は、44名、計61名が新たに同窓会の仲間になりました。これからは一緒に活動していただきたいと思ひます。



卒業生のおたより

S 24年中卒 和田 ミサ子(旧姓 山崎)

中学第一回卒業生は早くも70歳を過ぎました。これからどう総会が続けられるかを問う時が来ました。今年の集まりには考えたいと

思っています。その時には「まつかぜ」を利用していただきます。

S 27年中卒 吉田 吉男(旧姓 服部)

僕達第4回生は、小学校だけ、あるいは小中、中学のみ、中高卒者やなかには、小中高を卒業した古ツワモノを含め『なでしこ会』というクラス会を毎年開催しています。不思議なもので、学生時代は知らなかつた者同士が、クラス会を通して旧知の友になつていきます。

さて、話は変わりますが、小・中・高各同窓会を連携バックアップする機関として2001年4月に校友会が設立されました。各同窓会長は校友会の副会長として奉仕されています。2006年には平和学園も創立60周年を迎えます。その準備委員長として山口、小学校同窓会長が選任され、校友会も学園に協力して記念行事を盛り上げたいと考えています。

ところで、母校平和学園も10年前に女子中学が再開され、5年前から校名がアレセイア湘南中学・高校に代わり、男女共学のハイレベルな中高一貫教育を目指しています。念願の中高新校舎をいま建設中で、ハード、ソフト両面の充実した学校として、地域社会の評判と期待が高まりつつあります。

S 28年中卒 大石 茂生

毎年開催される福島光夫先生の水彩画展に同期11名が集まりました。今年は、ヨーロッパ旅にあり

てのテーマでイタリア、シチリア島など美しい景色が会場（六本木）に一杯でした。10年先輩と伺いお元気な先生に驚き更にいつまでも

旅を続けていただきたいと祈りました。絵を観た後は全員で近くの中華で楽しい一時を過ごしました。内容は健康と孫の話題が中心です。最後に5月末の白河一泊旅行プランを取決め終了しました。その後、有志で話題の六本木プラザ見学へ出掛けようです。

S 46年中卒 山本 成美(旧姓 宮川)

何年か前に、名古屋にお住まいの小林勝利先生をお呼びし、横浜で小学校のクラス会を開きました。男性7名中3名が海外（アメリカ・フランス・オーストリア）在住のため、全員参加とはなりませんでしたが、出席者全員顔を合わせたとなりに、心は小学生時代にタイムスリップし和気あいあい楽しい時間を過ごしました。

それから数年がたち、今年の夏にでも、また皆が集まりたいという要望もあり計画中です。

H 15年小卒 石井 葉

やっと中学校生活にも慣れた今日この頃です。自宅が近い事もあってちよくちよく小学校に遊びに行かせてもらってます。裏庭で取って食べた夏みかんの種を植えた夏みかんの木もスクスク育っています。行く度に見るのが楽しみで私達が何才になつたら実を付けてほしい。私も夏みかんに負けず、しっかり成長していきたいと思ひます。

H 16年小卒 酒井 綾乃

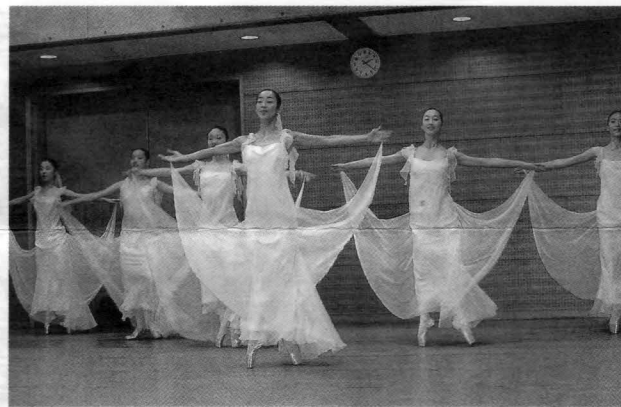
中学に入ったばかりで忙しく書く暇がありませんでした。すみません。色々迷惑をかけると思ひますが、どうぞ宜しくお願いします。

旧職員と校友会との交わりの会

前学園長 飯野 義子

二〇〇四年四月二十九日、晴れて爽やかな日であった。約百名の昔生徒と昔教師が、体育館に集合した。乾桂二さん（小10回）の名司会で会は進行し、校友会会長の吉田吉男さん（中4回）の「皆様お帰りなさい」の呼びかけで、なごやかに楽しい歓談の時を持った。程島美智恵さん（小6回）の手作りのサンドウィッチやケーキを美味しく頂いた。

乃羽バレエ団の花形バレリーナ寺島まゆみさん（高45回）はじめ在校生団員も乃羽ひとみ先生がお連れ下さり、本格的バレエの素晴らしい演技を満喫させて頂いた。加賀先生が昔の体育祭は仮装行列で各クラス競い合って楽しかった事等お話しになり、教師チームもいつも参加してユーモア賞を頂いた事など思い出し、しばし昔話に花



が咲いた。

中高に男子生徒が加わって、昔の男子生徒が多数学校を支える側に立って下さり、社会で鍛えた腕前をふるって校友会を盛り立てて下さっている姿に胸が熱くなった。横山哲夫先生の閉会の祈りで会は閉じられた。その後、学校校舎見学となった。

四号館、本館は白井利夫さん（高6回）の現場監督したもの、また小学校グレイニアホール、図書館は山口洋一郎さん（小14回）が設計したもの、六号館、体育館は、東安彦さん（小中8回）が設計したもの、みんな卒業生の手によるものである。

時は流れ、人は変るが、平和学園の建学の精神は、しっかりと次の時代に受け継がれている事を確信した一日でもあった。

インターン体験記

S59年小卒 三橋 貴美代

私は昨年の秋から今年の5月まで、アメリカのコロラド州にある、ろう盲学校へボランティアインターンとしてASL（アメリカ手話）と、ろう教育を学びに行ってきた。

約7ヶ月のコロラド生活は私にとって奥深いものでした。この学校はコロラド教育庁に隣接しており、西にロッキーマウンテンの見えるとても美しいキャンパスでした。その学校は0歳児から21歳までの生徒の幅広い教育が行われていました。

スケジュールは週5日の朝8時から午後2時45分までびっしり組まれており、休憩時間はわずか5分でした。授業は手話が中心で読み書きが苦手な生徒達は手話がスムーズにできるようになります。コミュニケーションのほうひとつの手段である口話は、相手の口の動きを読み取る方法ですが、人によつては限界があり、口の形で似たような単語、例えば「たまご」と「たばこ」、「ししん」と「じしん」など読み違いがでてきます。そのため健常者とのコミュニケーションが難しいことがあります。

私も重度の難聴で、口話で育ちましたが、口話は、やはり先程書きましたように、目で相手の口の動きを追いかけるので、疲れを感じる事があります。私はクラスの先生から「高校生の少女が週2回、美術クラスを受

ける事になったので手伝ってもらえないか？」と依頼され、彼女の面倒をみることに。

彼女は重複障害を持っており、時々、人の髪の毛をひっぱったり、しがみついたりすることがあるときいていましたので、これから5ヶ月間彼女と向き合う事で、コミュニケーションをどのようにとるかが私の課題となりました。

まず、教室に入るときに、手を大きく振り「Hi!」と私の存在を知ってもらう事から始めました。それから彼女は茶色の色鉛筆で絵を描くことが好きだと分かり、他の色を勧めてみましたが、ポイと投げつけてしまいました。それならと淡い茶色を探し出し、紙の上に描いて「同じ色の仲間だよ」と教えました。初めは「Yes」だけでしたが鉛筆を削るときに「Please ase」を覚え「Yes, Please ase」と言えるようになりました。

それから少しずつ単語を加えていき、彼女の表情が豊かになってきました。私が教室に入ると、彼女も手を振るようになり、彼女の隣の席に座るように「しぐさ」で示すようになりました。彼女を通じて、いろいろと学ぶ事がたくさんありました。

ASLのクラスは手話のレベルをアップするために必要と判断された生徒や、他の学校から転入してきた口話を中心とした生徒がほとんどでした。世界には多数の言語があるように、手話も国によってさまざまです。健常者が使っている手話とろう達が使っている手話はまったく違います。アメリカでは健常者が使ってい

る手話は文法の通りになっていきますが、ろう達がつかっている手話はBe動詞などを省略します。また5W1Hは文の最初にきますが、手話では最後になります。プラス顔の表情（感情）を使います。健常者が声のトーンで感情を伝えるのと同じです。

他のクラスでは、色盲や読み書きの苦手な生徒達がいきました。彼らの隣に座って、黒板に書かれている文章を私がノートに書いて、後で見せたり、絵を描いて、説明をしたりしました。時々、読み書きの苦手な生徒と組んで、説明をドラマに変えて演じました。数日後、その生徒から結果を見せてもらったところ、満点でした。とびきりの笑顔でもうれしゅうでした。その笑顔で私もとてもうれしくなりました。

私は1ヶ月毎にスタッフやデフファミリーの家庭にホームステイし、それぞれのライフスタイルを堪能しました。数年ぶりのスキーやスノーシューズ（雪の上のハイキング）クライミング、市内観光などステイ先の家族と大いに楽しみました。お寿司が好物の人たちがほとんどで日本食やお寿司のパーティーを開いたら、皆が大変喜んでくれました。

最後に子供たちは皆個性があつて、本当に可愛く、どんないたずらっ子でも一瞬純粋な面を見せる時がありました。そして、英語がゼロでただひとりの日本人の私を皆様がいろいろと助けてくださいました。本当に感謝で一杯です。この出会いは私の貴重な宝物のひとつになりました。

イギリスの旅

S 37年小卒 高屋 弘子

娘の麻衣子（日6年小卒）が英語の勉強の為、英国カンタベリーに行く事になり、六月に日本を立ちました。少し慣れた頃に様子を

見がてら行ってみようと思っていたら、松田典子ちゃん（S 37年小卒）が仕事の休みがとれるので、六月末に来ないかと言ってくれたので、早速行く事に決めました。

典子ちゃんは「ハイハイ」の頃から平和の幼稚園、小学校も一緒に通った友達で英国在住三十余年、今は世界を股に「バリバリ」仕事をしています。彼女の新婚時代にお邪魔した時は、只々おしゃべりをして何も見ずに帰って来てしまつたので、今回はコッツウォルズ地方とロンドンを案内してもらい、娘のいるカンタベリーにも二泊する事にしました。

中学高校時代の友達との二人旅となり、遠足（修学旅行）気分です。着いた日は典子ちゃんの家で「ウキウキ」と成田を出発しました。シチューやワインの夕食を御馳走になり、次の朝も車で宿まで迎えに来てもらい、ロンドン郊外のハンプトンコート（ヘンリー八世の別荘）に向かいました。

私の憧れていた英国式の庭に、バラや様々な花が咲き乱れ、緑の芝生と大きな木々、その下でベンチに座って本を読んでいる老人がいたり、花や木々に囲まれゆつくり一日過ごしたいなあと思わせる素敵なお城でした。

午後、コッツウォルズ地方へと

向かいました。バブに泊まれるというのが楽しみでした。村の人も飲みに来てくれるバブで地ビールや好きなお酒を飲みながらの食事ゆつくりおしゃべりし、そのまま泊れて快適です。なだらかな丘陵に白い羊が点々と草を食んでいる牧場、菜の花畑、麦畑が広がり、その中に小さな村が点在しているのがコッツウォルズです。

家はハチミツ色の石造りで窓には花が飾られ、かわいい店が並んでいます。特色のあるいくつかの村を廻り、途中ラズベリー摘みをしたり、のんびり過ごしました。バブにもう一泊してロンドンへ。

高層ビルがほとんどないのにびつくり。石造りレンガ造りの建物を大切に使っていて街全体が古風な雰囲気のある街でした。地下駐車場が造れないので道路が駐車場になつているのが大変かな。晴天続きだったのですが、霧のロンドンもいろいろなああと想像しながら、ハロッズ、コンランショップ、ビッグベン、ウエストミンスター寺院、テムズ河畔のシェイクスピア劇場。二日間歩き廻りました。

カンタベリーはイギリス国教会の総本山カンタベリー大聖堂のある石畳の落ち着いた町です。娘のホームステイ先のお宅に挨拶に伺い、とても温かそうなミセスオロールに会い、まずはひと安心。町を歩いていると娘の学校の友達にすぐ会ってしまう小さな町です。

大聖堂を見学し、昔ながらの商店街を散歩して買い物をしたりの二日間を過ごし帰路に着きました。短い日程でしたがイギリスを満喫した旅でした。

児童募集

（小学校）

- ◆募集人員 / 27名（男・女）
- ◆願書受付 / 9月27日（月）～10月4日（月）土・日・休日を除く
- ◆試験日 / 10月19日（火）午前10時

※詳細は下記まで
<http://www.jr.aletheia.ac.jp/>
 TEL 0467-87-1662

生徒募集

（アレセア湘南中学校）

- ◆募集人員 / 80名（男・女）
- ◆試験日 / 2月1日、2日、3日（その他2回を予定）

※詳細は下記まで
<http://www.jr.aletheia.ac.jp/>
 TEL 0467-87-7760
 FAX 0467-87-0496

小 学 校			
	男	女	計
1 年	14	13	27
2 年	13	14	27
3 年	15	11	26
4 年	19	8	27
5 年	7	10	17
6 年	7	14	21
合 計	75	70	145

中 学 校			
	男	女	計
1 年	28	14	42
2 年	15	17	32
3 年	32	19	51
合 計	75	50	125

平成15年度会計報告

入金(418名)	443,000
入金(17名×6,000)	102,000
等利息金	18,010
金利	241
繰越	2,182,522
合 計	2,745,773
印刷送付費	393,137
印刷年分	35,740
印刷手数料	49,200
振込	26,080
振込	8,523
議力の用	5,589
の用品	5,318
袋	4,663
代金	2,217,523
繰越	2,745,773
合 計	2,745,773

収入

支出

二〇〇四年度学校行事予定

- 9月18日(土) 文化祭(中・高)
- 9月29日(火) オープンスクール(小)
- 10月1日(金) 学芸会(小)
- 10月23日(土) バザー(小)
- 11月6日(日) バザー(小)
- 12月11日(土) バイブオルガンコンサート
- 12月15日(火) クリスマス礼拝
- 9時15分() お話会(毎週火曜日)

編集後記

前号発行より、もう一年経ってしまいました。今回も猛暑の中、原稿をお寄せ下さった方々、編集のお手伝いをして下さった方々ありがとうございました。また、全国の卒業生に向けての発送は、もっとたいへんな作業です。短時間でもお手伝い下さる方はいかがご連絡ください。

岡田枝画子・高屋弘子

連絡先の変更

今まで同窓会の連絡等を、すべて引き受けて下さっていた伊藤美保子さん（S 34年小卒）が3月に平和学園を退職なさいました。

今年度からの連絡は、小学校の和田扶実子先生（S 35年中卒）へお願いします。伊藤さん、長い間、本当にありがとうございました。

〇四六七（八七）一六六一
 平和学園小学校内 和田扶実子
hejwa.koyukai@mail.go.ne.jp